

19万人のひろば



### 高津小学校の6年生が公式プールで水球を体験

オリンピック・パラリンピック教育推進校として、県の指定を受けている高津小学校。9月20日、6年生110人が秀明大学ウォーターポロアリーナで水球を体験しました。

きっかけは、7月に秀明大学女子水球部が同小学校で行ったアクアゲームです。インカレで4回目の優勝を果たした選手たちが普段練習している公式プールは水深2m。「こんなに深いプールは初めて。足がつかなくて不思議な気分」と初めての経験に興味。ボールは思ったより大きくて重かったようです。

子どもたちは、広報班と応援班に分かれて、女子水球部を応援していきます。広報班では、タブレット端末で撮影した写真を使ってポスターやチラシを作り、水球普及のために活動していきます。

また、当日録音した選手たちへのインタビューを、地元のFMふくろうで収録して10月17日に放送する予定です。



▲実際にボールに触ってパスやシュートを体験しました

### テロ対処訓練で関係機関が連携



▲液体を回収する警察のNBCテロ対策専門部隊

9月11日、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、八千代緑が丘駅でテロ対処訓練が行われました。今年6月に設立した「テロ対策ネットワーク・YACHIYO」をきっかけに実施し、千葉県警や八千代警察署、市消防本部、東葉高速鉄道(株)、イオンモール八千代緑が丘店など約180人が参加。犯人役の男が奇声を上げながら車内に液体をまくと、車内は騒然となりました。張りつめた空気の中、車内放送が流れ駅員が乗客を誘導。警察官が犯人を確保し、防護服を着た機動隊や消防隊員が負傷者の搬送、液体の処理や除染などを行い、関係機関が連携して取り組みました。

### 国際色豊かにインターナショナルデイを開催

本市で生活する外国人は、9月末で5,274人。言葉や文化の違いからコミュニケーションが上手に取れないこともあります。八千代市国際交流協会は、市民と外国人との交流をとおして互いを理解するための取り組みを行っています。



▲ベトナムの観光地「ホイアン」を紹介する留学生

その一つが9月8日にフルガーデン八千代で開催したインターナショナルデイです。

ステージでは、ベトナム、ネパールをはじめとする4か国の留学生27人が民族衣装に身を包み、歌やダンスなどで母国を紹介しました。

今年は秀明大学の学生が、本市の地図を展示。地域の変貌を宅地の分布などを色分けし、視覚的にとらえたものや、立体的なものも展示しました。

### 11月4日 東葉家族車両基地まつり

普段入ることができない車両基地を一般開放。車両展示や保線用モーターカー試乗、動物ふれあい広場などイベント盛りだくさん。



▲間近で車両を下から見学することもできます

詳しくは東葉高速鉄道(株)のホームページをご覧ください。

▶日時 11月4日(日)。午前10時30分～午後3時30分。入場は午後3時まで。小雨決行、荒天中止

▶会場 東葉高速鉄道車両基地(八千代緑が丘駅から徒歩15分)。駐車場はありません ▶問い合わせ 東葉高速鉄道(株)企画課☎458-0018へ (総合企画課)

### 日本語スピーチ大会の参加者を募集

日本語スピーチ大会を開催します。市内在住か在勤の高校生以上の外国人対象。発表は5分以内、テーマは自由です。見学もできます。終了後に懇親会も行います(スピーチ発表者は無料、ほかは200円)。



▶日時 11月23日(祝)。午後1時～2時30分。30分前から受付 ▶場所 八千代台東南公共センター5階多目的ホール ▶申し込み 11月15日(木)までに、はがき、ファクスまたはメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・国籍・スピーチのテーマを書き、八千代市国際交流協会〒276-0027村上天地2-9-103多文化交流センター内☎752-0593、✉yia2006@world.zaq.jpへ

▶問い合わせ 同協会☎752-0593(火曜・木曜日のみ)または総合企画課☎483-1151(代表)へ

### 八千代歌壇

佐波 洋子選

黒揚羽青筋揚羽わが庭に飛来した朝姉は逝きたり

乾きたる畑のをちこち小鳥らの砂浴みの跡の窪みに凝る陽

夕風の瀬戸の入江に船を漕ぎまかり釣りしあの夏遙か

苦き薬湯飲むとき姉の口ぐせは「生きたくもなし死にたくもなし」

熱中症になるなど娘が買いくれし麦茶二リットル庫内を占

宙見上げ君だったんだ五十年何億光年次への旅立ち

花巻を雨にも負けず歩き行けばおりおり耳に「賢治先生」

こまごまと家事の負担を書き置きし家出のごとく妻入院す

分校のクラスメートも減り続け一人となりし長き電話よ

選評 一首目、人の死は様々だが息を引き取る時は一瞬で、蝶と死者は即きすぎる様だが、黒揚羽青筋揚羽の存在感が、まるで一瞬の邂逅のように姉の死を暗示する。二首目、細かい観察の目が結句まで届いていて、頑張った。跡の「は不要。三首目、瀬戸の入江の静けさが印象派絵画のようで美しい。折角の四句までの具体が結句で平凡になったのが惜しい。

### やちよ川柳

八千代川柳連盟選

庭の花名前出ぬうち枯れ始め 大和田新田 矢澤 光江

宗教が生まれ不幸な人類史 大和田新田 岩波 啓祐

三代目親の苦勞にあぐらかき 勝田台 芹田 慶玉

筋道を論じて貸した治療代 米 本 木村つる子

百歳を視野に独りのオモチャ箱 八千代台北 中川記代子

そうだと領く妻と目で握手 緑が丘西 加茂 英代

嫁ぐ朝陽気な父が貝になる ゆりのき台 石田 らく

カプトムシ子より興奮パパの顔 八千代台東 向井譲り葉

石井食品工場見学 八千代市オリジナルツアー

12月の工場見学はありません。次回は、平成31年1月に実施予定です。申し込み方法については、広報やちよ11月15日号でお知らせする予定です。



イシイのミート君